

26年度 新たな市政課題にも総力 市立保育園廃止・「認定子ども園」化、市立病院独法化など

26年度の団の任務分担が決まるとともに、新たな市政課題にたいして、団の総力をあげて市民の利益を守る立場でとりくみます。市民のみなさんのご協力をお願いいたします。

26年度にとりくむ団の主な活動は以下の通りです。

① 安倍政権がすすめる社会保障の解体攻撃（生活保護、国保、介護保険、医療など各分野の改悪など）にたいして、市民と力を合わせて断固として反撃し、福祉の増進をすすめます。

② 市がすすめる市立保育園廃止・「認定子ども園」化、市立病院独法化などの問題点をあきらかにし、市民的な運動をいっしょにすすめる、保育や地域医療に果たす市の役割を充実させます。

③ 田辺市政の検証をおこない、静岡市政の問題点と課題を市民的にあきらかにし、「市民が主人公の市政」への転換を市民とともにすすめます。

また26年度の運動を進める団の任務分担は下記の通りです。よろしく願います。



日本共産党 静岡市議会議員団

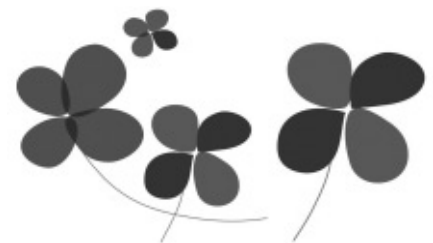
ニュース

2014—No.3

日本共産党静岡市議会議員団

議員控室 TEL 054-254-2111
(内)4541

FAX 054-272-4695

アドレス <http://www.jcps.jp/>メール yksf5@jcps.jp

H26年度の所属委員会



議員団団長

山本 明久市議

- ・経済消防委員会
- ・競輪運営協議会
- ・観光・交流事業調査特別委員会



議員団副団長

内田 りゅうすけ市議

- ・都市建設委員会
- ・議会運営委員会
- ・清掃対策協議会
- ・総合治水及び災害対策調査特別委員会

**鈴木せつ子市議**

- ・生活文化環境委員会
- ・国民健康保険運営協議会
- ・観光・交流事業調査特別委員会委員長

**西谷博子市議**

- ・厚生委員会副委員長
- ・産業振興調査特別委員会

**寺尾 昭市議**

- ・上下水道委員会
- ・蒲原病院組合議会
- ・中山間地活性化調査特別委員会

憲法と地方自治法の立場を堅持

山本、内田議員正副議長選で所信表明
4月23日市議会（臨時会）で正副議長選挙が行われ、共産党から議長に山本明久議員、副議長に内田隆典議員が立候補、憲法と地方自治法に立脚し議会運営を進めると表明しました。結果は、議長に自民党、副議長に新政会の候補が当選しました。共産党以外の会派は独自候補を立てず、この2人に投票しました。静岡市議会においても自共対決がいつそう鮮明になった反面、他党派のオール与党ぶりがきわ立つ結果となりました。



市待機児童園で党荒川区議団と懇談

荒川区は年1000人を超える保育所待機児童解消のため、保護者が運動を重ねています。党区議団が、静岡市の待機児童園を視察し、静岡の党市議団と懇談しました。
本市は、3区に待機児童園を開設し、先進事例として注目されていますが、来年4月から市立保育園・幼稚園を幼保連携型認定子ども園への移行は拙速です。子どもの健全な成長が守れるのか、こちらも注視されています。
保育関係者と共に、保育制度充実にむけ、運動を展開します。

